

令和3年5月17日

5月も中旬になり、少し汗ばむような季節になってきましたが、コロナウイルス感染症の予防のため、いろいろと制約のある学校生活を過ごしています。また、2年生になって一カ月過ぎて、去年より勉強に意欲的に取り組んでいる生徒も多いようです。その一例として、数学の授業で使うノートの取り方の工夫を紹介します。一人ひとりが自分なりに考えて、工夫してノートを作っているようです。

まず最初の方は、次のように工夫しています。

- ・重要だと思ったこと、ノートをひらいたときにすぐ目に入るようにしている。(色ペンでかこう、線をひく)
- ・重要語句…赤ボールペン
- ・別解、気づいたこと、気づけること…青ボールペン
- ・先生が前にかいた重要なこと…オレンジボールペン(赤ボールペン)
- ・毎日、日付・ページ数・どの問題としているのかを書いている。

さらに次の人は、このように工夫しています。

- ・分数を上下2マス使っている
- ・どこをやっているかわかるようにページ数をかいている
- ・大事なところは色をつけたり、色線をひいたりしている。
- ・文字と数字の形が似ているものの文字の書き方を変えている(bを&に)



そして次の人は、

計算が間違えたところはどこが違ったのかを書きこみ、先生が言ったけれど黒板には書かれていないところはイラストと共にメモし、後から見ても思い出せるようなノートにしています。

以上のように、3人の人はそれぞれノートの取り方の工夫をしています。

そして、最後の人は次のように工夫しています。

- ・テストに出題されるところは赤ペンでマークをす
- ・新しく習うことや注意点は赤ペンで自立つように書く
- ・重要なところには赤ペンで(重要)とマークする。
- ・計算の公式などにはマーカーで周りを囲う
- ・手順を表すときは赤ペンの他に青や緑を使って見やすく書く。
- ・間違えた問題は必ず赤で直す。
- ・手順を表すときは矢印を使って後から見ても分かりやすいように書く



最後の人のような工夫はかなり大変ですが、自分にとってわかりやすく、復習しやすいように、自分ができる工夫を試みましょう。昨年よりも自分のためになるノートを作り、自分の学力の向上につなげましょう。1年生の時とは少し違う、授業への参加方法を考えていきましょう。将来の自分のために。